【写真の説明】①福祉車両で通院・買い物へ（移動サービス）
②網戸や窓の掃除を行います（支えあいサービス）
③家庭で余った食品の寄附を受け付けています（フードバンク活動）

※今号に掲載している内容は令和３年11月２日現在の内容です。
最新情報は市ホームページ（右記二次元コード）をご覧ください

こうほう佐倉
2021（令和3）年
11.15
No.1369

新型コロナウイルス感染症関連情報……2
長嶋茂雄氏が文化勲章を受章されました……3
改修工事による固定資産税の減額……4
特別会計決算の概要……5
佐倉市民花火大会が開催されました……8

1

3

2

佐倉市社会福祉協議会

支えあいのまちづくりを推進します

佐倉市社会福祉協議会は、市と協力し、誰もが地域で安心して笑顔で暮らせる「支えあい、助け合えるまちづくり」に取り組んでいます。

佐倉市社会福祉協議会が担う主な〝３つの役割〟

1 さまざまな課題を解決につなげます

市民のかたが抱える困りごとに耳を傾け、行政や専門機関、地域住民による支えあい活動と連携し、解決に導きます。

❖移動サービス ～あなたのお出かけをサポート～

一人でお出かけすることが難しいかたの外出をお手伝いします。協力会員（サポーター）が車での送迎を行います。

2 地域住民の活動を支援します

地区社会福祉協議会［▣］やボランティアなど、住民参加による福祉活動を支援し、地域で支えあい、助け合えるまちづくりを行います。

［▣］地区社会福祉協議会は、地域特性に応じた地域福祉活動を推進しています

❖地区社会福祉協議会の支えあいサービス

窓ふきや電球交換、ごみ捨てなど、日常生活の中での困りごとをお手伝いしています。

3 福祉活動（ボランティアなど）への参加を支援します

多くのかたが福祉活動に参加できるよう、情報発信や環境づくりに取り組み、みなさんの優しさを活動につなげます。

❖フードバンク活動 ～みなさんの善意を必要なかたへ～

家庭で余っている食品を寄附していただき、困窮する世帯などに提供します。

❖災害ボランティアセンター ～みんなの思いをかたちでつなぐ～

市内に大きな被害をもたらした令和元年の豪雨。社会福祉協議会では災害ボランティアセンターを開設し、屋根の補修や泥のかき出しなどの被災者支援を、ボランティアの皆さんに行っていただきました。

Interview

地域福祉の向上をめざして――

思いやりがあふれるまちづくりをサポート

佐倉市社会福祉協議会
深沢 孝志 事務局長

社会福祉協議会では、困りごとがあるかたへのサポートをはじめ、地域全体でお互いを支えあうまちづくりに取り組んでいます。

❖コロナ禍で苦しむかたがたに多角的な支援を

コロナ禍の中、国が実施する緊急小口資金貸付の窓口として、多くの相談を受け付けています。貸付に関する対応件数は、例年に比べ10倍以上増えています。一時的に貸付を行うだけでなく、行政や福祉団体などと連携し、多角的な支援につなげられることが、私たちが窓口を担当する意義だと感じています。

❖「地域福祉」の第一歩は、まちの課題に関心を持つこと

地域福祉の向上を目的に、今年の４月から志津南部圏域に「地域福祉コーディネーター」を設置しました。誰もが安心して、いきいきと生活できるよう、地域が抱える課題の解決策を地域のかたがたと一緒に考える「まちの潤滑油」のような存在です。

多くのかたに、自分が住むまちの課題について関心を持っていただくことが「地域福祉」の第一歩です。身の回りに困っている人がいたら、「他人事」ではなく、身近な問題として捉えて、お互いを気にかけあい、助け合えるようなまちづくりを進めたいと思います。

◉社会福祉協議会の事業の詳細はホームページ（左記二次元コード）をご覧ください

Interview

「地域福祉の両輪」として連携協力しています

佐倉市社会福祉課
杉山 拓巳 主任主事

市と社会福祉協議会（以下 社協）では、地域福祉の充実・向上を共通の目標として連携しています。社協の強みは、地域との結びつきが強いこと。自治会や民生委員・児童委員の皆さんと一緒に、まちの課題に取り組むことで、各地域の実情に合わせた解決策へと導くことが可能となります。市では、社協と情報共有することで、よりきめ細やかな支援体制を構築できます。

市と社協では、引き続き「地域福祉の両輪」として連携し、地域全体で、困っているかたを支えあい、助け合える「お互いさまの地域づくり」を推進していきます。

問い合わせ
❖佐倉市社会福祉協議会 ☎(484)6197 FAX(486)2518
❖佐倉市社会福祉課 ☎(484)6135 FAX(486)2503